

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
210003	XXX1210003	2	前期	国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報文化学科	共通	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	共通	選択	2年
異文化理解	小山田 紀子			情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	共通	選択	2年
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	共通	選択	2年		
授業目的							
いま日本では「ヒト、モノ、カネ、情報」の国境を越えた往来が活発に行われ、国際化が急速に進んでいる。この国際化の波は私たちの生活にさまざまな影響を与えている。われわれの身のまわりでも外国人の姿が目立つようになったし、また私たちが海外に出て行くチャンス―海外旅行、留学、ビジネスなど―も増えてきている。そしてそれは多かれ少なかれわれわれに異文化接触の機会を提供することになる。このような国際化の時代にあって、「異文化理解」の必要性が声高に唱えられるようになってきたのだといえよう。しかし、異文化への理解というと、とかくそれ自体がよいことであるようなニュアンスがあるが過去には植民地支配のための異文化理解もあったし、市場獲得を目的にした異文化理解もありうるわけで、そう考えると、何のためのどのような異文化理解かが問われなければならないであろう。また、異文化という何とも国際間のことだけではなくて、国内の異文化もあるわけで、国内の文化を単一的なものと捉える感覚が、異なった文化の拒否や排除につながっていくケースも見られるのである。							
本講義では、私の海外生活の経験を踏まえて、異文化接触の諸相をさまざまな事例から紹介していきたい。ヨーロッパにおける移民問題、日本における在日韓国朝鮮人問題や外国人労働者問題、国際交流や教育の国際化がもたらす問題、あるいは個人のレベルでは国際結婚というテーマもあるであろう。さまざまな角度から異文化理解の問題を考えていきたい。さらに国際化時代から地球時代へと移り変わりつつある今日、われわれは異文化理解を通して、自分の国の利益だけにとらわれずより広い普遍的な発想を持つ地球市民としての生き方が求められているといえよう。							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】序論―私の異文化体験 【前・後】教科書を購入してもらう。 問題提起に対して自分の意見をノートにまとめる。				第 9 回 【授】日本の外国人労働者問題（3） 【前・後】ノートのまとめ			
第 2 回 【授】異文化接触の諸相―ヨーロッパの移民問題（総論） 【前・後】ノートのまとめ				第 1 0 回 【授】日本における「異文化理解」の試み 【前・後】 ノートのまとめ			
第 3 回 【授】フランスの移民問題（1） 【前・後】ビデオの感想文を書く				第 1 1 回 【授】日本における「異文化理解」の試み 【前・後】ノートのまとめ			
第 4 回 【授】フランスの移民問題（2） 【前・後】ノートのまとめ				第 1 2 回 【授】自己表現力を付ける 【前・後】教科書の当該箇所を読んでおく。ノートのまとめ			
第 5 回 【授】フランスの移民問題（3） 【前・後】ノートのまとめ				第 1 3 回 【授】主体的に学ぶ 【前・後】教科書の当該箇所を読んでおく。ノートのまとめ			
第 6 回 【授】ヨーロッパ市民の誕生 【前・後】ノートのまとめ				第 1 4 回 【授】行動する 【前・後】教科書の当該箇所を読んでおく。ノートのまとめ			
第 7 回 【授】日本の外国人労働者問題（1） 【前・後】ノートのまとめ				第 1 5 回 【授】まとめ―地球市民としての生き方 【前・後】教科書の当該箇所を読んでおく。ノートのまとめ			
第 8 回 【授】日本の外国人労働者問題（2） 【前・後】 ノートのまとめ				第 1 6 回 【授】定期試験 【前・後】15 回のまとめのノートを読み返して復習をする。教科書を読み返す。			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	○	○	○				90
小テスト・授業内レポート	○	○	○				5
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○				5
成果発表表（口頭・実技）							
演習							
その他							
教科書参考書							
教科書は未定。第 1 回目の授業の時に指示する。 参考書は授業時間中、適宜指示する。							
受講に当たっての留意事項							
授業への出席を重視します。							
学習到達目標							
2 年次後期の海外留学や今後の異文化接触に機会の役立つ視点を獲得すること。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習